

令和 5 年第 5 回理事会議事録

令和 5 年 12 月 18 日

公益社団法人 岡山県獣医師会

(公社) 岡山県獣医師会令和5年度第5回理事会議事録

1. 日時及び場所 令和5年12月18日(月)13:30~14:58
岡山コンベンションセンター407会議室 岡山市北区駅元町14番1号
2. 出席者
会長 中村金一 副会長 中塚陽二郎 甲斐みちの 梶原則夫 常務 加藤信介
理事 滝本良幸 三宅龍二 松川拓哉 平田祐介 西 克彦 日下知加久 江草佳彦
上原淳宏(欠席)
監事 西村一道 木尾勝昭 丸山 光
オブザーバー 田原鈴子(欠席)
その他出席 澤田真由美

3. 開会及び挨拶

加藤常務理事(以下常務)が第5回理事会の開会を告げ、中村会長(以下会長)が冒頭、理事会への出席の労をねぎらい挨拶とした。

4. 出席理事の報告

常務が、理事13人中12人、監事3人中3人が出席、理事会は成立するとした。
なお、オブザーバーは、欠席の報告があったとした。

5. 議 事

常務が、議事に際し、議長は定款第34条により会長がこれにあたる、定款第36条及び理事会運営規則第12条により、出席した監事及び会長が議事録に署名するとなっている旨説明し、議事に入る。

議長が、順次次第にそって報告事項の説明を簡潔に行うよう事務局に求め、常務が説明した。

【報告事項】

(1) 会長理事、常務理事の業務執行状況及び前回理事会議事録の確認について

会長(代表理事)、常務(業務執行理事)が、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法」第91条第2項に基づき、前回理事会以降の業務執行状況等をそれぞれ説明し、畜産振興や動物の愛護及び管理に関する法の円滑な推進に係る業務を遂行したとし、この間役職員の報告すべき賞罰はなかったと報告した。

議長が、前回理事会議事録の発言内容の確認について事務局に指示し、常務が修正の無いようなら、会員専用ホームページに掲載するとした。

議長が、他に修正点などないことを確認し、(2)令和5年度上期監査について、関連する上半期監査資料の説明を事務局に求めた。

(2) 令和5年度上半期の監査について

常務が、事前送付した「上半期監査資料」により、前回理事会での説明と重複する部分は簡略化し、会員数・会員の異動状況・関係会議の開催状況とともに、9月末時点の事業実施状況と経理関係の財務諸表を中心に説明した。

事業関係では、令和5年度事業計画にそって推進し、動物愛護募金事業では動物の愛護及び管理に関する法に基づき県等の実施する施策に協力する団体への支援などを実施した。

地域猫活動の一般からの相談件数17件、負傷動物診療措置業務では県管轄区域6件と岡山市管轄区域5件に対応した。

また、学校飼育動物サポート事業では県下20校・園で実施しており、災害時の動物救援活動事業では防災セミナーの開催や防災訓練においてペット同行避難の展示を行うとと

もに災害等で飼い主とはぐれたペットとの早期の再開が出来るようマイクロチップ装着・登録を推進し登録件数は191件であった。

さらに岡山市の実施する動物愛護関係事業における保護動物活動支援募金の状況、公衆衛生の向上に関する業務の狂犬病予防注射実績など、9月30日現在の各事業の進捗状況を説明した。

経理関係では、貸借対照表（9月30日現在）の大きな動きとしては、資産の部の特定資産において、公益事業準備資産4,000千円及び会館建設積立資産2,000千円の積立を昨年度末に実施し、動物愛護募金積立資産は昨年度における盲導犬導入費への助成で減少し、全体では4,804千円増加し55,660千円となった。また、負債の部の預り金が前年に比べ1,119千円増加しているのは、正会員受取会費のうち日本獣医師会費に相当する1人当たり6千円が預り金に相当するとしたことによる。その結果、正味財産の部では負債及び正味財産合計が110,589千円となり、4,558千円増加した。

上半期の正味財産増減計算書では、収入の部では、受取会費の正会員受取会費の内、日本獣医師会費に相当する6千円を貸借対照表の流動負債の預り金と仕訳したことにより、2,804千円減少し4,508千円となり、受取負担金の学術向上普及事業負担金の学会事業に仕分けしていた県学会抄録の広告収入やブース展示料は負担金ではなく雑収益としたのに伴い235千円減の160千円となり、雑収入は270千円となった。受取寄付金では、岡山市の動物愛護事業分として保護動物活動支援事業収益の科目を増やし416千円増加し、経常収益は全体で前年に比べ1,790千円減少し22,909千円となった。

経常費用の事業費では地区学会が下期の開催となったことで旅費交通費が1,163千円減少し、813千円となった。また、日本獣医師会費の仕訳変更により支払負担金が944千円減少し、681千円となり、支払助成金は岡山市の保護動物活動支援事業収益を岡山市の保護動物医療費支出のため全額岡山県小動物協会に支出しており425千円の増となり921千円となった。管理費も、同様、旅費交通費及び支払負担金の減となり、経常費用は昨年度より1,688千円減の13,134千円となった。

当期経常増減額は昨年度に比べ102千円減の9,775千円となり、一般正味財産期末残高は、5,004千円増の104,632千円となった。

これに、指定正味財産期末残高を加えた正味財産期末残高は、昨年度より3,237千円増加し、105,814千円となった。

議長の指示で、木尾監事から、上半期の監査を実施し、事業実施状況、会費の納入状況や経理処理、現金の動きとして通帳もあわせて確認し、適正に行われていたとの報告がおこなわれた。

議長は、事務局に報告事項（3）から（7）について一括して説明するよう求め、常務が資料にそって次のとおり説明した。

（3）令和5年度下半期事業実施状況

まず、動物愛護普及啓発事業の動物愛護フェスティバルの開催では、11月23日に開催された岡山市動物愛護フェスティバルの会場で、昨年度動物愛護募金事業の盲導犬贈呈式を行ったこと、学校飼育動物サポート事業でモルモット飼育モデル事業により保育園及び幼稚園の各1園にモルモットを提供したとし、他は資料にそって説明した。

(4) 令和5年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会の概要

令和5年12月1日から3日に、神戸国際会議場で開催され、参加者は全体で約1,100名、参加登録者は730名、本県からの参加は14名であった。

12月3日に関係会議として開催された、学校飼育動物支援対策検討委員会公開拡大会議において、神戸市獣医師会の紹介した神戸市立王子動物園で作成した「動物園の獣医」は、教材として提供するとのことで、当会でも取り寄せて活用するとした。

(5) 自民党岡山県議団令和6年度岡山県予算編成に係る各種団体個別懇談会の概要

11月15日(火)に開催され、自民党総務委員会に「公務員獣医師の処遇改善について」、「市町村におけるペット同伴可能な避難所の指定及び防災計画への具体的な記載」、自民党文教委員会に「動物飼育に取り組む保育園・幼稚園・小学校に対する、実践できる体制整備と予算措置」について理事会資料に添付した陳情書を読み上げ説明した。

「公務員獣医師の処遇改善」については、福岡県・徳島県と同様に、県の人事委員会主導で獣医師独自の給料表を創設し、医師・歯科医師との給料表間の差を獣医師手当で補うようにとの陳情であるとし、「災害時のペット同伴可能な避難所の指定」は、あらかじめ指定することで、ペット飼育者の避難先を明確化することで、少しでも被害を減らすように努められたいと説明した。

(6) 令和5年度正会員会費納入状況

11月30日現在の状況で、8月末が期限のため10月に督促し、現在33名が未納者となっている。来年1月に第2回目の督促を行い、2月から3月にかけて電話でお願いすることとしたいとした。

(7) 岡山県獣医畜産事業協同組合(岡山県獣医畜産株式会社)とのケタミン倉庫の土地賃貸覚書の締結について

理事会資料24から25ページに示すとおり、覚書の更新期間が迫っており、当会からは、22ページから23ページに示した覚書(案)を示し、文書による回答を求めているところと説明した。

議長が報告事項について、質問等を求めた。

【質疑応答】

西 理事；陳情事項が3つあったが、県からの回答がむづかしいかもしれないと説明されたのはどの事項か。

常 務；災害時ペット同行可能な避難所の指定で、県担当課から陳情内容の確認があり、法律や規則での指定は難しいとのことであったが、ペット飼育者が災害時、安心して避難できるようにとの趣旨であると伝えた。

松川理事；小動物講習会の参加者が少ない。参加者への呼びかけを、役員も促すようお願いする。

甲斐副会長；小動物学会幹事として、今後はオンラインはやめ対面とする方向で検討したい。

会 長；講師や内容の発表が決まるのが遅く、広報するのが遅れる。

甲斐副会長；学術委員の方で内容がまとまってなくて、呼びかけが遅れる。

三宅理事；内容が決まるまで時間がかかり、広報のスピードがあわせられないのが実情であった。

会 長；小動物講習会は、部会学術委員会で早く内容を決めて、広報をPRしてゆきたい。

議長は、他に質問等が無いのを会場に確認し、事務局に決議事項の説明を求めた。

【決議事項】

(1) 岡山県獣医師会旅費規程第2条に定める別表役職員旅費給与基準の一部改正

常務が次のとおり説明した。

前回理事会の議事録に示すとおり、協議事項として役員報酬について提案し、協議したところ、当面、旅費規程の一部改正で対応することとなり、第5回理事会に改正案を示すこととされ、理事会資料により現行規程と改正（案）の説明が行われ、実際の施行は新年度予算に盛り込むようにしたいとした。

会長が、本規程改正が理事会決議（総会でなく）で改正する事項であることを確認した。

【質疑応答】

日下理事；近年、宿泊費が高騰していると聞くが改正(案)に示す金額で大丈夫か。

中塚副会長；畜産協会では、県に準じて10,900円としているが、県が改正すると改正することとしている。改正（案）に示す金額で実施し、不足する場合は改めて改正するようにしてはと考える。

議長が、他に質問等が無いのを確認し、承認の可否を会場に諮り異議なく承認された。

議長は、事務局にその他の説明を求めた。

【その他】

(1) 今後の行事予定

常務が、今後の行事予定は資料に記載のとおりとし、特に1月15日の環境省マイクロチップ意見交換会は、現在混乱している、犬・猫のマイクロチップ登録制度の環境省指定登録団体である日本獣医師会主催により開催するもので、参集範囲は日本獣医師会の他、環境省、厚労省、県内関係自治体、当会からは会長他小動物関係者が出席する予定である。

また、今後開催される専門分野別講習会は資料のとおりと説明した。

(2) その他

1) 会議等の日程調整

会長から口頭で、令和6年9月に学校飼育動物サポート事業研修会を午前中に、午後ワンヘルス研修会を市民公開講座として開催する。講師として、午前中は東京都獣医師会中川副会長、午後は国立環境研究所の谷口主任研究員に依頼することとしており、役員が出席するよう、連休中ではあるが9月15日（日）岡山コンベンションセンターレセプションホールで開催することとし、各役員は予定に入れられたいとした。

併せて、次回理事会（令和5年度第6回理事会）の日程は、3月21日(木)岡山コンベンションセンター406会議室で開催するとした。

2) 委員会設置の提案

会長が、新たに「犬猫の殺処分ゼロ推進事業に関する委員会」と「財務体質改善委員会」を提案した。

3) 3月理事会での決議事項の確認

中塚副会長が、3月の理事会の主たる決議事項は、獣医師会も(法人として)次年度の事業計画と予算の決議で、そのうえで4月から事業を開始するという基本的な法人のスケジュールについて確認がなされた。

あわせて、(各役員の日程を調整するうえで) 法人の上半期のスケジュールを次の理事会で示すようにとの提案があった。

4) 賛助会員への呼びかけ

日下理事から、賛助会員に積水ハウスなど他分野の企業へ、呼びかけをして良いものかとの確認があり、会長から趣旨に賛同する企業があれば紹介されたいと回答があった。

議長が、会場から他の意見等の無いことを確認し、最後に甲斐副会長の閉会挨拶をお願いするとした。

甲斐副会長からイスラエルのガザ地区での戦闘など社会情勢は悪いが、来年に向けて当獣医師会を盛り上げていただくようお願いすると挨拶し、14時58分閉会した。

上記議事の経過及び議決事項を記録するため本議事録を作成し、会長理事及び出席監事が署名押印する。

令和5年12月18日

会長理事

中村金一



監事

西村一道



木尾勝昭



丸山

